

専門人形劇演技者 育成講座

全人協は2023年度も全国で11講座を開催します！その中から人形劇むすび座での講座をご紹介します！

プログラムは、人形劇のプロ演技者を対象としていますが、演技者ではない方、アマチュアで活動をされている方なども、ご参加いただけます。全て受講無料です。事前にお申し込みが必要です。

IN

名古屋市

人形劇団むすび座 稽古場

(名鉄常滑線「名和」駅より徒歩15分)

お申し込み・お問い合わせ／

人形劇団むすび座 (担当/吉田) E-mail puppet@musubiza.co.jp

※お申し込みの際は、件名を「全人協講座申込」としていただき、本文に「参加希望の日程・お名前・ご住所・電話番号・年齢・人形劇の経験年数・(あれば)所属先」をご記載ください。

Vol.1 「人形劇演技者の即興性を磨く」

第1回 2023.6.23[金] 15:00～18:00(14:45開場)

第2回 2023.6.26[月] 15:00～18:00(14:45開場)

第3回 2023.6.27[火] 15:00～18:00(14:45開場)

※3回通しのご参加を推奨しますが、いずれか1回または2回のみのご参加も可能です。



講師／原田亮 (俳優・演出家・脚本家・演劇活動家)
パフォーマンスユニットPlatanus(プラタナス)、子供劇団C.C.C.THEATER代表。サンフランシスコ州立大学演劇学部演劇学科卒。脚本・演出・ワークショップを通して子どもたちへの児童演劇活動に携わる。また多くの海外作品「小さな家(アジアコラボ)」「トレジャー(日本・ドイツ・ブラジル共同作品)」に参加。留学経験を通して通訳としての仕事もしている。

内容／

「自分との対話時間」と「相手との共感瞬間」を探ろう！このワークショップでは、人形劇の演技者たちが、身体的な即興性を向上させるための方法を学びます。さまざまなワークの中で、思考的な行動から感覚的・衝動的な行動に切り替えたり、対相手の反応速度を高めることで、参加者は自分を解放し、新しい表現力を発揮することを目指します。

人形劇の舞台上で活躍する演技者たちにとって、「新しい自分」を発見する場を提供します。

持ち物／動きやすい服装、上履き

Vol.2 「人形劇演技者のための呼吸・発声・歌唱」

第1回 2024.1.29[月] 15:00～18:00(14:45開場)

第2回 2024.1.30[火] 15:00～18:00(14:45開場)

第3回 2024.2.27[火] 15:00～18:00(14:45開場)

※3回通しのご参加を推奨しますが、いずれか1回または2回のみのご参加も可能です。



講師／信太美奈 (シンガー・ヴォイストレーナー・演出家)
歌手・プロデューサー・演出家・桐朋学園芸術短期大学演劇科特別招聘教授・昭和音楽大学非常勤講師。30年以上大学などで歌や演劇の指導を続けている他、幼い子供達への自然に身体に染み込んでいくような音楽指導にも定評がある。全国多数の劇団の作品では歌唱指導として参加している。今後は豊かで愛があり、互いの個性を認め合う世界を芸術活動を通して試算していきたいと目指し中。

内容／

発声の基礎、身体を使った発声を学び、参加者それぞれの課題をクリアしながら、セリフのための発声、歌唱へと進みます。

最終的には、人形を生かしながらも、腹の温度を感じ、気持ちを込めた言葉、歌唱、そして観る人の感情を揺り動かすような声を目指します。

持ち物／動きやすい服装、上履き

Vol.3 「モノとカラダを自在に操るために」

第1回 2024.2.13[火] 15:00～18:00(14:45開場)

第2回 2024.2.14[水] 15:00～18:00(14:45開場)

第3回 2024.2.20[火] 15:00～18:00(14:45開場)

※3回通しのご参加を推奨しますが、いずれか1回または2回のみのご参加も可能です。



講師／Chang・LONTO (ラストラーダカンパニー、道化師)
国内外で20年の芸歴を経て独立し、2018年ラストラーダカンパニーを設立。より芸術表現を追求する為、様々なアーティストと共演するなど、表現するジャンルを問わず意欲的に活動中。言葉を使わないノンバーバルの作品を中心に全国で公演、指導等を行っている。名古屋市芸術創造賞(Chang)、愛知県芸術文化選奨受賞(LONTO)の他にも国内外での受賞歴多数。

内容／

道化師は言葉を使わずとも相手の特性を見極め、距離感、スピード、空気感、接するための第1歩など身体や空気をコントロールしながらコミュニケーションをとっています。実はそれは「モノ」や「カラダ」でも同じことが言えるのです。

「モノを動かす」と「モノが動く」では身体の使い方は全く違います。こんな風に操りたいと思っても、それを動かす身体の技術が伴わなければ伝えることができません。今回の講座では普段道化師が行っているトレーニングを交えながら「モノ」「カラダ」に向き合っていきます。

持ち物／動きやすい服装、上履き